

教育課程等の概要

(看護学研究科 看護学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
共通科目	地域創成ケアシステム論	1前	2			○		
	看護研究法Ⅰ	1前	2			○		
	看護研究法Ⅱ	1前	2			○		
	死生学	1後		2		○		
	看護理論	1後		2		○		
	看護倫理	1後		2		○		
	看護教育論	1前		2		○		
	看護管理論	1前		2		○		
	コンサルテーション論	1後		2		○		
	医療英語特論	1前	1			○		
	病態生理学特論	1前		2		○		
	臨床薬理学特論	1前		2		○		
	フィジカルアセスメント	1後		2		○		
小計(13科目)	—	7	18	0	—			
地域創成ケアシステム	看護マネジメント学特論Ⅰ	1前		2		○		
	看護マネジメント学特論Ⅱ	1後		2		○		
	看護マネジメント学演習	1後		2			○	
	看護科学特論Ⅰ	1前		2		○		
	看護科学特論Ⅱ	1後		2		○		
	看護科学演習	1後		2			○	
	小計(6科目)	—	0	12	0	—		
地域生活創成看護	次世代育成看護学特論Ⅰ	1前		2		○		
	次世代育成看護学特論Ⅱ	1後		2		○		
	次世代育成看護学演習	1後		2			○	
	急性・療養生活支援看護学特論Ⅰ	1前		2		○		
	急性・療養生活支援看護学特論Ⅱ	1後		2		○		
	急性・療養生活支援看護学演習	1後		2			○	
	メンタルヘルス支援看護学特論Ⅰ	1前		2		○		
	メンタルヘルス支援看護学特論Ⅱ	1後		2		○		
	メンタルヘルス支援看護学演習	1後		2			○	
	がん療養生活支援看護学特論Ⅰ	1前		2		○		
	がん療養生活支援看護学特論Ⅱ	1後		2		○		
	がん療養生活支援看護学演習	1後		2			○	
	がん療養生活支援看護学特論Ⅲ	1後		2		○		
	がん療養生活支援看護学実践論Ⅰ	1前		2		○		
	がん療養生活支援看護学実践論Ⅱ	1前		2		○		
がん療養生活支援看護学実践論Ⅲ	1後		4		○			
がん療養生活支援看護学実習Ⅰ	1後		2				○	
がん療養生活支援看護学実習Ⅱ	2前		2				○	
がん療養生活支援看護学実習Ⅲ	2前		4				○	
がん療養生活支援看護学実習Ⅳ	2前		2				○	
小計(20科目)	—	0	44	0	—			
研究科目	看護学特別研究	1後-2通	6				○	
	小計(1科目)	—	6	0	0	—		
合計(40科目)		—	13	74	0	—		

学位又は称号	修士(看護学)
学位又は学科の分野	保健衛生学関係(看護学関係)
授業期間等	
1学年の学期区分	2学期
1学期の授業期間	14週
1時限の授業時間	100分
卒業要件及び履修方法	
<p>修了要件は、大学院に2年以上在学し、31単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、本大学院の行う修士論文についての審査及び試験に合格することとする。</p> <p>履修方法</p> <p>地域創成ケアシステム分野・地域生活創成看護分野の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目から必修7単位、他に10単位以上選択し履修する。 ・専門科目から8単位以上選択し履修する。 ・研究科目6単位を履修する。 ・専門科目は各自の選択した専攻領域の「特論ⅠⅡ」及び「演習」各2単位と他領域の特論・実践論より2単位以上履修する。 <p><u>合計31単位以上を修得すること</u></p> <p>がん看護専門看護師認定審査受験資格を取得する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目から必修7単位、他に12単位以上選択し履修する。 ・専門科目から24単位以上選択し履修する。 ・研究科目6単位を履修する。 ・共通科目のうち看護理論、看護倫理、看護教育論、看護管理論、コンサルテーション論より6単位以上選択し履修する。病態生理学特論、臨床薬理学特論、フィジカルアセスメントは履修とする。 ・専門科目のうち、がん療養生活支援看護学特論ⅠⅡⅢ、実践論ⅠⅡⅢ、実習Ⅰ～Ⅳは履修とする。 <p><u>合計49単位以上を修得すること</u></p>	